

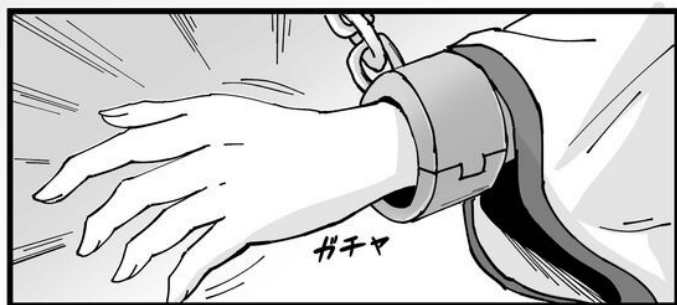
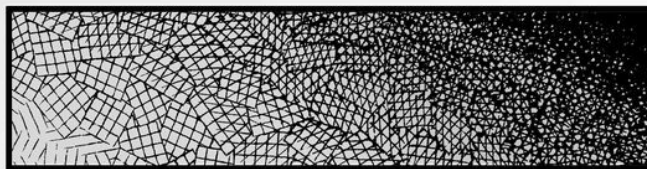


うっ!?

これは一体…?

私は先程まで
路地裏にいたはず…

それで一瞬
意識を失って…



ガチャ



ん……あ……



気持ちよさそうに
寝ていたようだが…
ようやく目が覚めたか

待ちわびていたぞ

お前がこうして
一人になるのをな…

あなたがこれを…?

私を誰だと知っての
狼藉ですか?



国王直任
対魔物小队

その後衛で
プリーストの役を
務める…

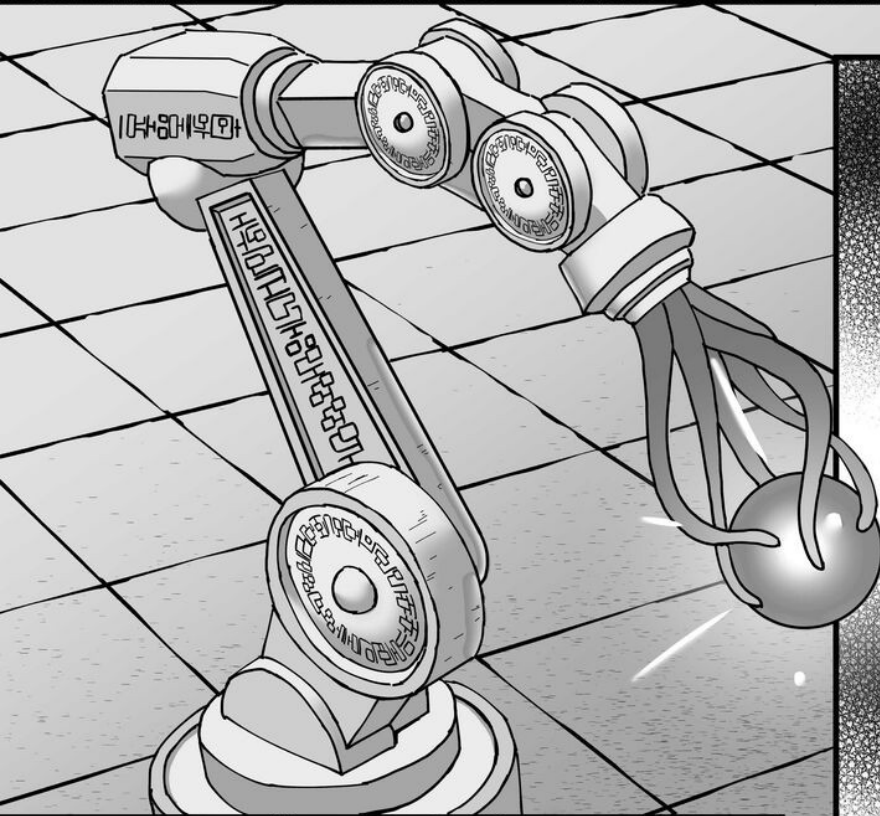
知っている

味方を大幅強化できる
固有パッシブを持ち

更には様々な
精霊術を使い
こなせると言う

圣女シャルディナ

知っているなら
早く私を
解放した方が
身のためですよ



ふふふ…

その素晴らしい
能力について
考えがあつてな…

お前の魂を抽出して
使用すれば

能力の使用効率を
上げられる上に

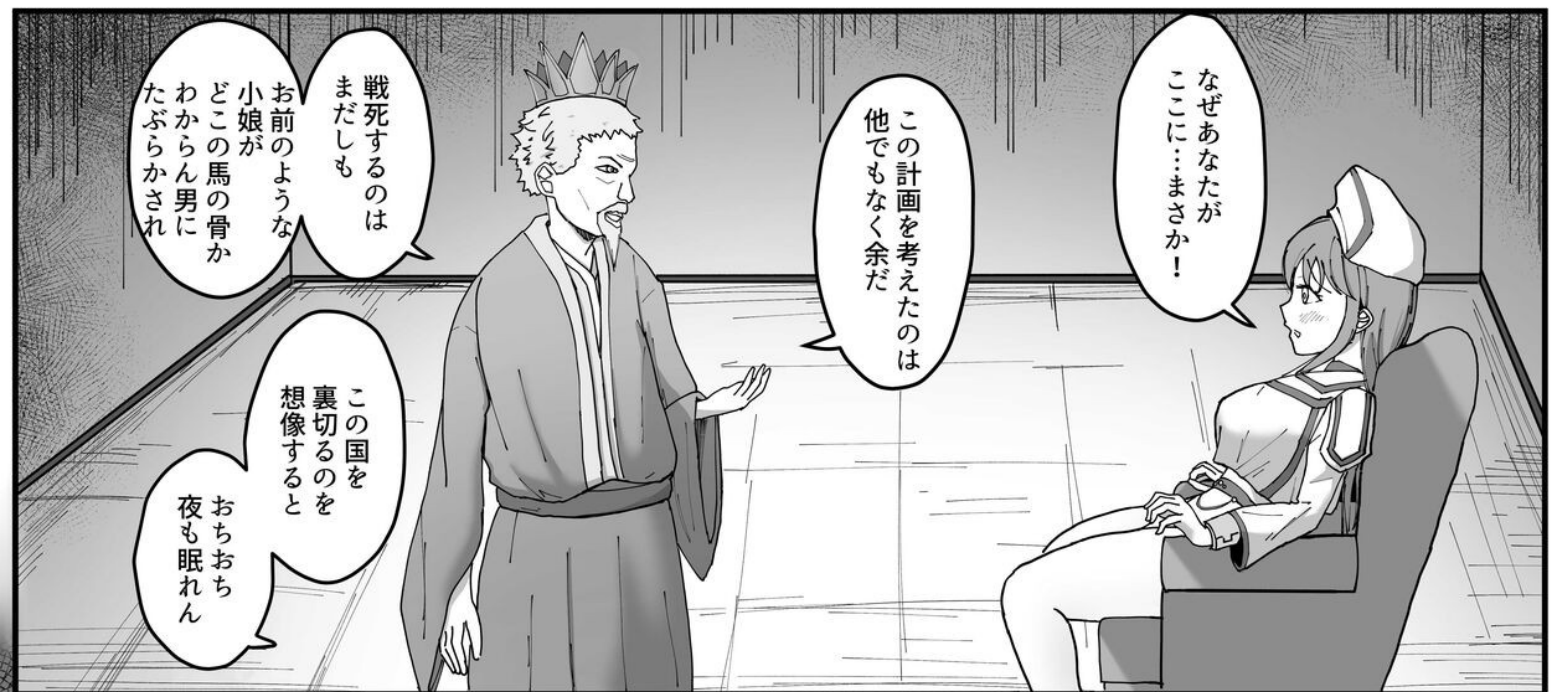
命を落としたり
敵に寝返る心配を
しなくて済む

バカバカしい

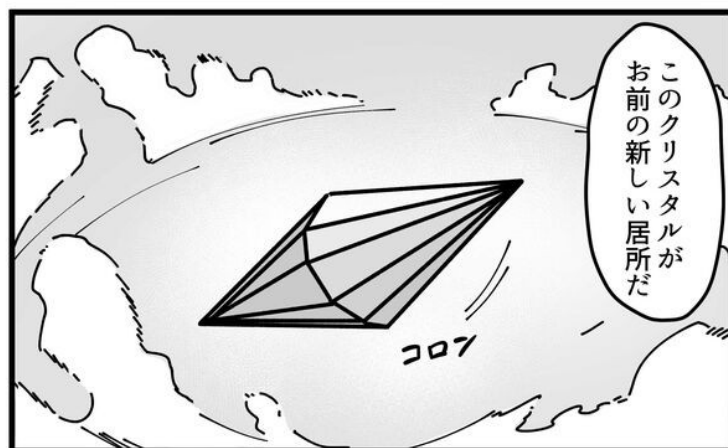
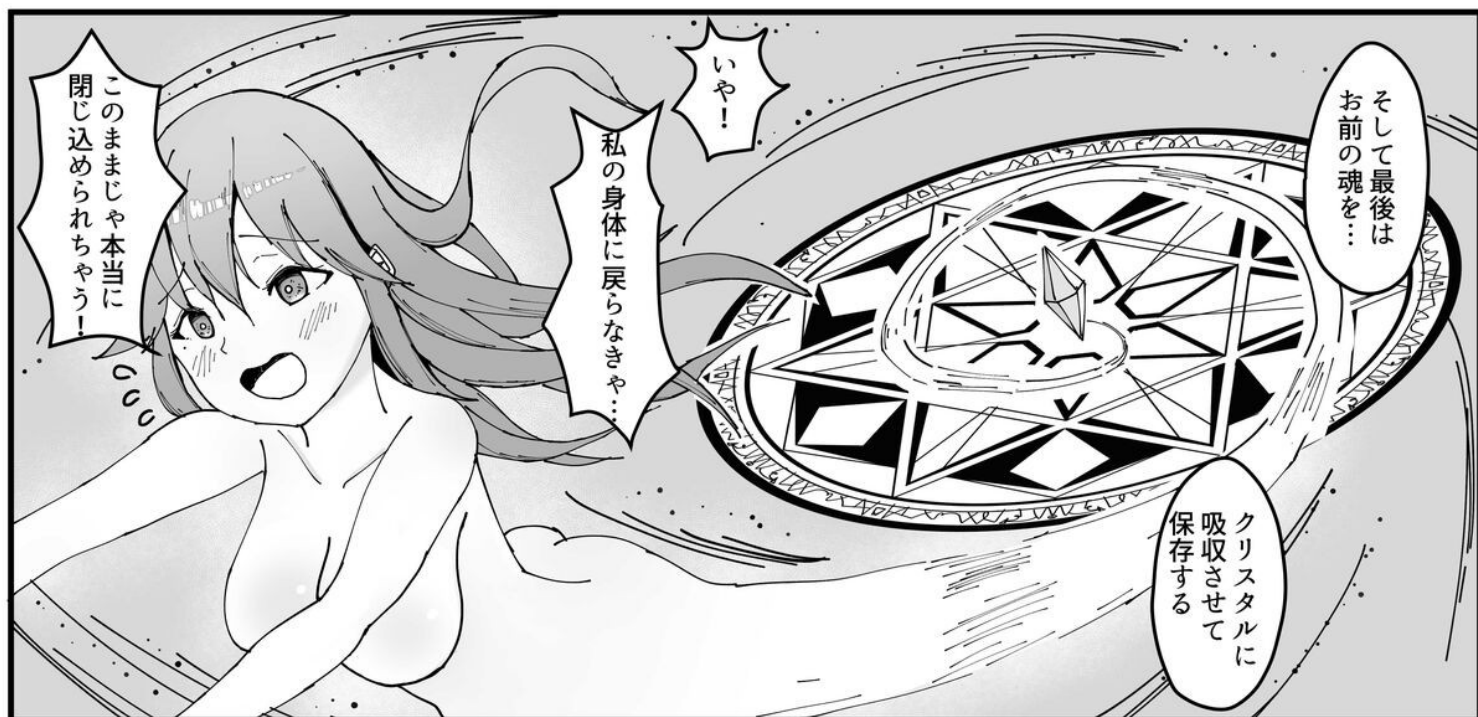
たとえ本当に
できるとして

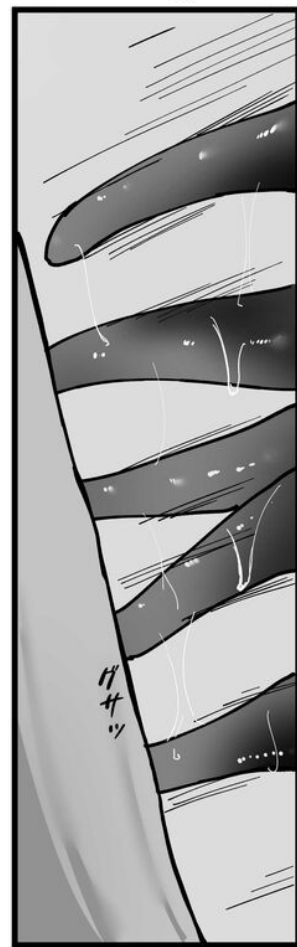
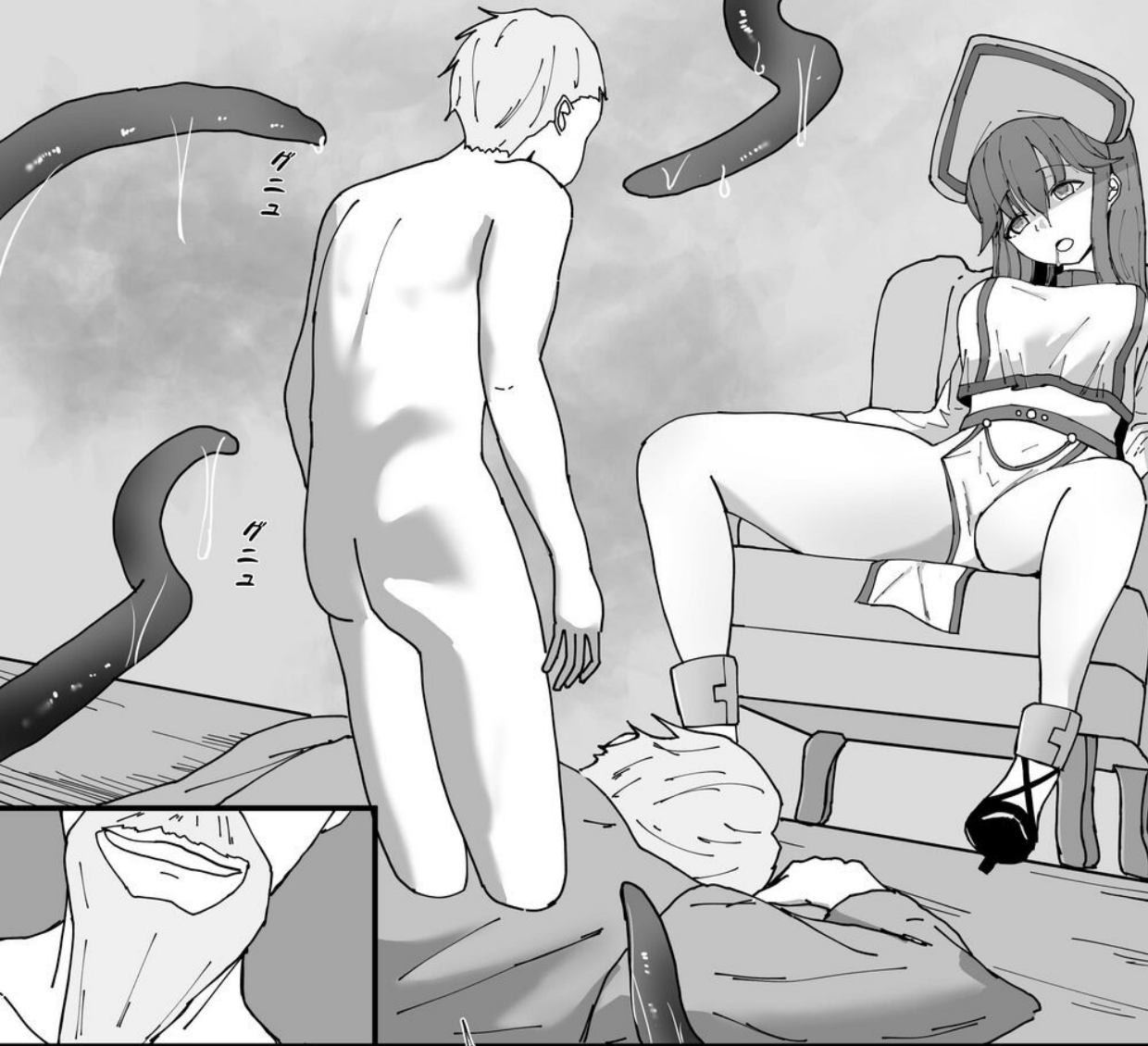
国王様が見過ごす
わけないわ！







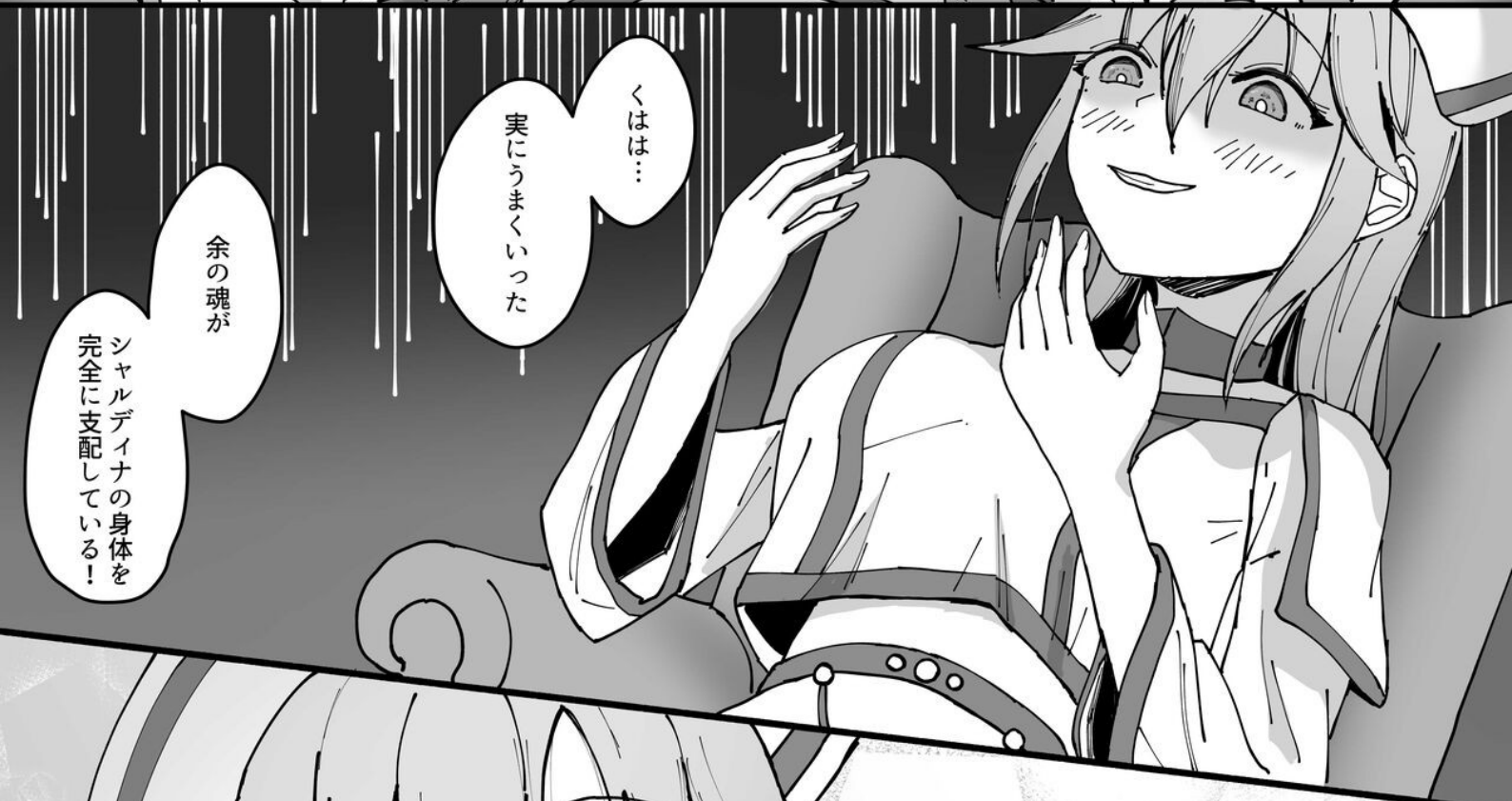






それにこの胸...

長い髪...



余の魂が
シャルディナの身体を
完全に支配している!

くはは...

実にうまくいった

うら若き聖女の肉体

ありがたく
貰い受けたぞ



これでも十分
馴染めている
ようだが...

もう少し
調教してやるか♥



余がお前の身体を
乗っ取ったのだ

え？



魔導台座に嵌めれば
返事ができるだろう

どうだ？
外の方は
見えるか？

あなたは誰ですか？
私にそっくりですけど



その褒美に

王の子を授からせて
やろうか

何を言って…

聖女の子宮も

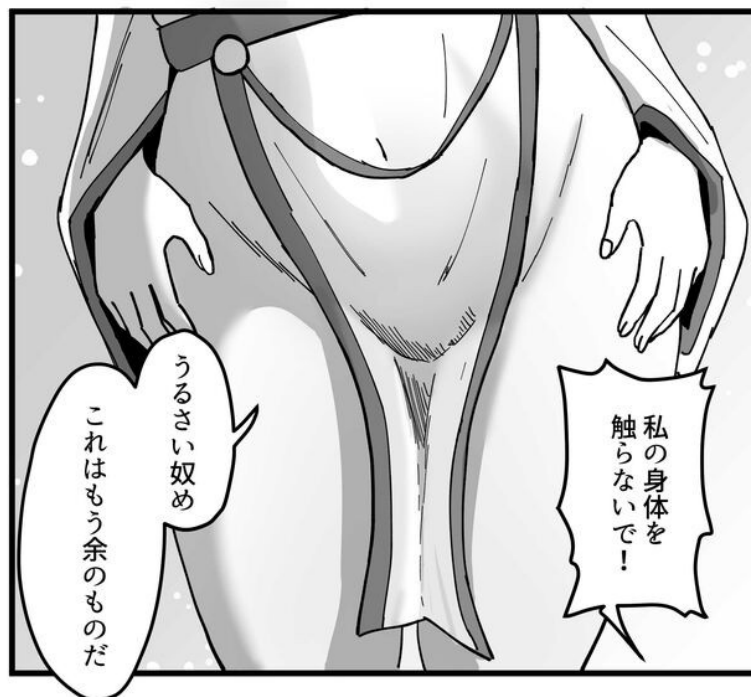
うずうずして
いるぞ

ふざけないで



くく、
お前の胸は

見た目より
もっと大きいな



私の身体を
触らないで！

うるさい奴め

これはもう余のものだ







入った!

おっ

ん

ヒダに指が
吸い付いて
離れない

きゅっ...



ああ、早く...
中に何かを
挿れたい!



きれい...

聖女らしく下は
つつるしてる...



はふ...

止まるどころか

動きが勝手に
早くなってる



はあ...はあ...
これ...ヤバイ

でも膣の方は
まだ欲している...



ああああ

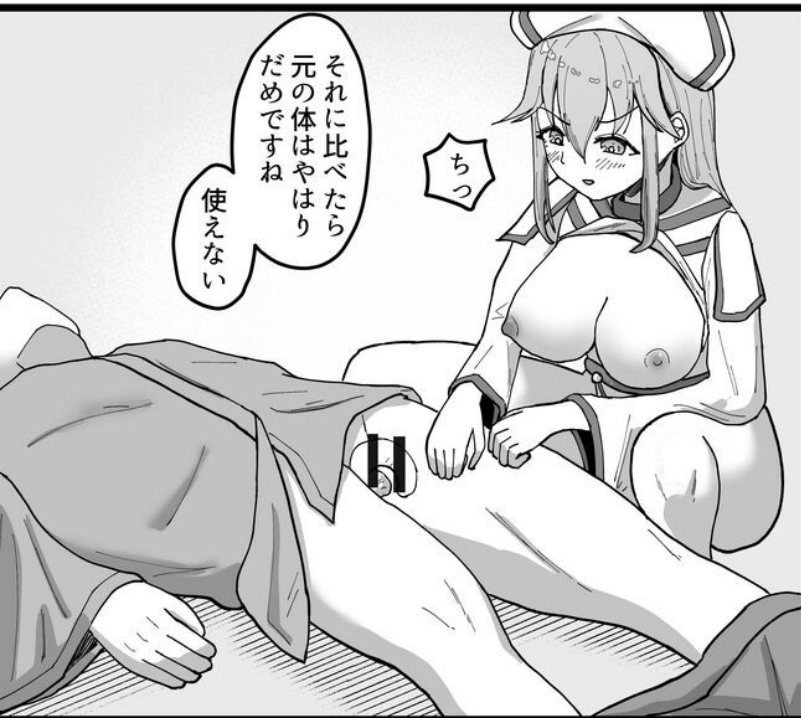
まだ本番じゃないのに

クリを弄るだけで

いつちゃううう

ああ

あっ♡ああ♡





はあ

すごい

気持ちいい

はあ

興奮が…
止まらない♡

この体が孕むまで
何回でもやってやる♡

んはああああ

あなたなんか…
ろくな死に方
しないんだから！

この外道！
私の身体を
返してよ！
ううう…

あはっ

んっ

この嬌声も…

私が出しているんだ

月皇歴549年
病により先王が
この世を去った

そして彼の遺志のもと
王家の血を引く聖女が
その後継者となる

シャルディナ
女王が国を
統治して以来

魔物の出現は
大きく減少し

民からも王室内でも
敬愛される方となった

残念でしたね

あなたが
犠牲になって
全てがうまく
行きましたよ

忘れて
いました

あなたは
魔導台座が無ければ
喋れませんでしたね

気が向いたら
またお話を
しましょうか

元聖女
シャルディナ

.....